



長崎の  
美味しい  
島めぐり

壱岐  
Iki



# 辰ノ島

非日常へと誘う  
小さな楽園

辰ノ島周辺の海の透明度は島の自慢。どこまでも続く遠浅のビーチは感動ものだ。

迫力満点の「蛇ヶ谷」。圧倒的な力で迫ってくる自然美に魅了される。

**朝** 市を満喫した後は、すぐ近くの勝本港へ。ここから「辰ノ島」へと向かう。壱岐には美しい天然のビーチがいくつもあ  
るが、中でも島の人がおすすめるのが「辰ノ島」という小さな無人島だ。

まずは遊覧船でクルージングを楽しむ。気持ちの良い潮風に吹かれながら、船は辰ノ島の周りをぐるりと一周する。オオカミ岩、マンモス岩、サザエ岩と、名前通りの形をしたユニークな奇岩をはじめ、エメラルド色の海の上に古い宮殿の遺跡を思わせる断崖がそそり立つ「海の宮殿」など、見どころ満載。これら独特の景観美を生み出しているのは勝本層。まるでパイ生地を重ねたような岩肌の勝本層は島で最も古い地層とされている。

クルージングのクライマックスは「蛇ヶ谷」。船上から見る海拔五十メートルの断崖絶壁は迫力満点。船首を岩肌ギリギリまで近づけるスリリングなサブプライズに歓声が上がります。  
船を降り、いよいよ辰ノ島へ。この島のビーチは格別で、白い砂

浜と遠浅の海は息をのむほど美しい。海面はキラキラと輝き、魚の影が揺れ、時間が止まる。  
島には遊歩道があり、一時間もあればゆつくり散策を楽しめる。目指すは、先ほど船から見た蛇ヶ谷。上から見下ろす蛇ヶ谷はさらにダイナミックで、谷の深さに思わず足がすくむ。長い年月をかけて波や風に侵食されて創り出された断崖は自然美そのもので、地球の歴史を体感した。

島のもう一つの見どころは「鬼の足跡」。壱岐には鬼が島伝説が語り継がれており、大きくなくぼ地は、大鬼が鯨をすくい捕るために踏ん張ってきた足跡とされている。この他にも、「けん池（立入禁止区域）」に近付くと欲しいものが浮かび上がるが、それを取りに池に入って戻った者はいないなど、島にはいくつもの伝説が残っている。

クルージングと無人島散策。潮風を感じながらの小旅行には壱岐の魅力が詰まっていた。

数万年をかけて侵食されてできあがった「海の宮殿」。

マンモスが海を渡っているように見える「マンモス岩」。

